

# 廃校が救う日本の「磯焼け」



指導教官	自治大学校	客員教授	上田	紘士
第2部課程	第187期	第1班		
リーダー	19番	大船渡市	藤原	明美
	16番	蘭越町	今野	満
	36番	河内長野市	松谷	信哉
	47番	鳥栖市	於保	順一
	49番	五島市	森口	義臣

# 目 次

政策提言報告書の概要	P 1
はじめに	P 2
第1章 現状分析	P 2
(1) 「磯焼け」とは何か	P 2
(2) 日本国内における「磯焼け」の現状	P 3
(3) 大船渡市の現状	P 4
(4) 水産業の現状分析	P 4～P 6
第2章 課題	P 6
(1) 海中の藻場が消滅し、生物の生育環境が整わない	P 6
(2) 大量発生しているウニの活用方法がない	P 6
(3) 漁業者の減少により、海中のウニの駆除が難しい	P 7
第3章 目指すべき方向性	P 7
(1) 湾内で大量発生しているウニの駆除	P 7
(2) 駆除したウニの有効活用	P 7
(3) 藻場回復事業に伴う雇用先の創出	P 7～P 8
第4章 政策提言	P 8
提言1 磯焼け海域再生プロジェクト	P 8
提言2 養殖技術の確立	P 8～P10
提言3 養殖施設の整備	P10～P11
提言4 雇用の創出等	P11～P12
提言5 販路の開拓	P12～P14
提言6 観光資源として活用	P14
おわりに	P14

# 政策提言報告書の概要



## はじめに

### 現状分析

- ・「磯焼け」とは何か
- ・全国、大船渡市の現状
- ・水産業の現状

### 課題

- ・海中の藻場が消滅
- ・ウニの活用
- ・従事者の不足

### 目指すべき方向性

- ・ウニ駆除の取組み
- ・駆除ウニを有効活用
- ・藻場回復の従事者確保

## 政策提言



- ・磯焼け海域再生プロジェクト
- ・養殖技術の確立
- ・養殖施設の整備
- ・雇用の創出等
- ・販路の開拓
- ・観光資源としての活用



## おわりに

# 廃校の利活用と耕作放棄地の再生による 地場産業の活性化

～目指せ！梅酒の聖地～



指導教官：自治大学校客員教授 上田 紘士

第2部課程 第187期 2班

2番 北海道栗山町 橋元 幸士

3番 北海道美幌町 鶴田 雅規

9番 愛知県半田市 吉川 真人

12番 徳島県吉野川市 土肥 裕章

13番 福岡県糸島市 飯田 敏文

# 目次

政策提言の概要	1
はじめに	2
第1章 現状分析	
1 吉野川市の概要	3
2 吉野川市の人口	3
3 吉野川市の将来人口	4
4 吉野川市の産業別人口	4
5 観光及び産業の拠点「吉野川市美郷地区」の現状	4
第2章 課題抽出	
1 学校の統廃合による遊休施設の増加	5
2 耕作放棄地の増加	6
第3章 政策提言	
1 提言1 廃校を活用した梅酒・梅製品製造施設	7
2 提言2 耕作放棄地の再生	10
3 提言3 梅酒のブランド化と地域の活性化	13
おわりに	14



# 唐津市におけるコンテンツツーリズムを利用した地域振興策



【日本渚百選 玄海国定公園 波戸岬】



【唐津城】



【日本三大松原 虹の松原】

指導教官 自治大学校客員教授 藤島 昇

【第2部課程第187期 第6班】

- |     |       |        |     |      |
|-----|-------|--------|-----|------|
| 7番  | 二瓶 和郎 | (所属団体) | 千葉県 | 八千代市 |
| 18番 | 堤 智貴  | (所属団体) | 北海道 | 本別町  |
| 29番 | 村上 絵美 | (所属団体) | 富山県 | 滑川市  |
| 44番 | 今井 一智 | (所属団体) | 愛媛県 | 西条市  |
| 46番 | 堤 さおり | (所属団体) | 佐賀県 | 唐津市  |

# 目次

◆政策提言の要旨	1
◆はじめに	2
第1章 唐津市の現状分析	2
1 唐津市の概要	2
2 唐津市の観光資源	3
3 唐津市の観光状況	3
4 唐津市におけるアニメインバウンド	5
第2章 課題抽出と目標設定	6
1 課題	6
(1) アニメインバウンドによる外国人観光客の受け入れ体制が不十分	6
(2) 二次交通が整備されておらず、豊富な観光資源が活かしきれていない	6
(3) 体験型・目的型・消費型の観光商品が不足しているため、観光消費額と観光滞在時間が少ない	7
2 目標設定	7
第3章 政策提言及び効果	7
1 提言1 インバウンドのサポート強化	7
(1) 外国人サポートセンターの設置	7
(2) 大学生の観光ガイド	8
(3) ガイドブックの翻訳	9
(4) フォトスポット及び無料公衆無線LAN環境の整備	10
2 提言2 観光ルートのグレードアップ	11
(1) 市街地観光のグレードアップ	11
(2) 郊外観光のグレードアップ	13
3 まとめ	14
◆おわりに	14

## 政策提言の要旨

### 現状分析

- ① 唐津市の概要
  - ② 唐津市の観光資源
  - ③ 唐津市の観光状況
  - ④ 唐津市におけるアニメインバウンド
- ⇒ 豊富な観光資源をもち、近年、アニメインバウンドにより外国人観光客が増加しているにもかかわらず、国内観光客数の減少により全体の観光客数は伸び悩み、観光消費額や観光滞在時間は少ないまま。

### 課題

- ① アニメインバウンドによる外国人観光客への受け入れ体制が不十分。
- ② 二次交通が整備されておらず、豊富な観光資源が活かしきれていない。
- ③ 体験型・目的型・消費型の観光商品が不足しているため、観光消費額と観光滞在時間が少ない。

### 目標

アニメインバウンドに伴うコンテンツツーリズムによって、恵まれた観光資源を活かした観光政策を行うことにより、観光という手段で地域の活性化を図る。

#### 【目標】

- ① 外国人観光客を誘致する。
- ② 観光消費額を増額する。

### 政策提言

- 【提言1】**  
インバウンドのサポート強化
- (1) 外国人サポートセンターの設置
  - (2) 大学生の観光ガイド
  - (3) ガイドブックの翻訳
  - (4) フォトスポット等の整備

- 【提言2】**  
観光ルートのグレードアップ
- (1) 市街地観光のグレードアップ
  - (2) 郊外観光のグレードアップ

# 高岡版分散型ホテルを拠点とした 周遊観光の提案

～また来られ高岡プロジェクト 高岡、今、空<sup>す</sup>いていますよ～



## 【指導教官】

自治大学校客員教授 田谷 聡

【第2部課程187期 第7班】

- 6番 岡崎 絵里子（坂戸市）
- 21番 夏井 大助（男鹿市）
- 28番 柚原 規泰（高岡市）
- 32番 長尾 大輔（知立市）
- 38番 福本 真紀子（高梁市）

## 目次

政策提言の要旨	1
はじめに	2
第1章 現状	2
(1) 高岡市の概要	2
(2) 高岡市の観光概要	2
第2章 課題分析	3
(1) 観光入込客数と観光消費額	3
(2) 観光客年齢層	3
(3) 観光施策整理	4
(4) 観光地の混雑状況	4
(5) 課題分析の結果	5
第3章 政策提言	6
(1) 高岡版分散型ホテルを拠点とした周遊観光とは	6
(2) 実施地域	6
(3) 周遊イメージ	8
(4) 実施体制	9
(5) 高岡版分散型ホテルの整備・運営	10
第4章 効果	12
(1) 認知度の向上、リピーターによる観光入込客数の増加	12
(2) 周遊観光が生み出す滞在時間の延長による観光消費額の増加	12
(3) 期待される経済効果	13
おわりに	14

# 政策提言の要旨

## 現 状

- (1) 高岡市の概要
- (2) 高岡市の観光概要



## 課題分析

- (1) 観光入込客数と観光消費額
- (2) 観光客年齢層
- (3) 観光施策整理
- (4) 観光地の混雑状況
- (5) 課題分析の結果



## 政策提言

- (1) 高岡版分散型ホテルを拠点とした周遊観光とは
- (2) 実施地域
- (3) 周遊イメージ
- (4) 実施体制
- (5) 高岡版分散型ホテルの整備・運営



## 効 果

- (1) 認知度の向上、リピーターによる観光入込客数の増加
- (2) 周遊観光が生み出す滞在時間の延長による観光消費額の増加
- (3) 期待される経済効果

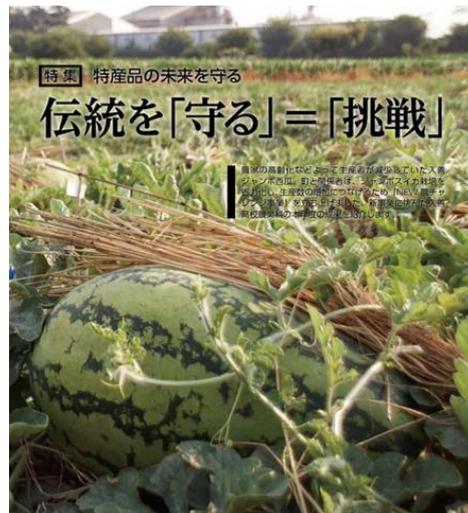
# 西瓜王国の復活に向けて ～入善ジャンボ西瓜の生産振興～



「入善ジャンボ西瓜」は、富山県入善町の産物として知られています。この西瓜は、その独特の味わいと見た目で、国内外で人気を博しています。しかし、近年は生産者の高齢化や労働力不足などの課題に直面しています。この課題を克服し、入善ジャンボ西瓜の生産を振興するため、様々な取り組みが行われています。

今年の夏はもう終わり。来年も元気に活躍できる方。多くはとてちねんなんぞ。これらを守つとみんなにしたい。だ・か・ら

一緒に歌って  
**ジャンボスイカ**



富山の農産物の中でも、入善ジャンボ西瓜は、その独特の味わいと見た目で、国内外で人気を博しています。しかし、近年は生産者の高齢化や労働力不足などの課題に直面しています。この課題を克服し、入善ジャンボ西瓜の生産を振興するため、様々な取り組みが行われています。

指導教官：関西学院大学法学部・大学院法学研究科教授  
金崎 健太郎

第2部課程第187期 第10班

- |     |        |    |    |
|-----|--------|----|----|
| 20番 | 宮城県角田市 | 渡邊 | 義信 |
| 25番 | 埼玉県上尾市 | 岸  | 崇史 |
| 30番 | 富山県入善町 | 谷澤 | 俊介 |
| 45番 | 福岡県須恵町 | 岩崎 | 勝  |
| 48番 | 長崎県長崎市 | 橋村 | 賢二 |

## 目次

政策提言の要旨	1
はじめに	2
1 現状分析	2
(1) 入善町の農業について	2
(2) 入善ジャンボ西瓜について	2
(3) 入善ジャンボ西瓜への入善町の対応について	3
2 現状の課題	5
3 目標設定	7
4 政策提言	8
施策1 企業とのマッチング	8
施策2 入善ジャンボ西瓜実証プロジェクトの実施	9
施策3 スマート農業の導入・普及	12
5 効果	13
おわりに	14

# 政策提言の要旨

現状分析

入善町の農業について  
入善ジャンボ西瓜について



現状の課題

過大な労働時間  
栽培面積の減少



目標設定

生産性の向上



政策提言

入善ジャンボ西瓜実証プロジェクト  
実証実験・スマート農業導入・普及



効果

労働時間の削減

栽培面積の拡大



# 「生きがいつくり事業の推進による 高齢者の豊かなしあわせづくり」



【指導教官】自治大学校 客員教授 西藤 公司

第2部課程第187期 第3班

【リーダー】	22番	埼玉県	行田市	藤倉 敬士
【班員】	1番	北海道	栗山町	樋渡 哲也
	34番	大阪府	岸和田市	前田 英子
	37番	兵庫県	赤穂市	中村 光男
	43番	香川県	東かがわ市	戸阪 匡博

## 目次

政策提言の概要	1
はじめに	2
<b>第1章 現状分析</b>	
1 岸和田市の概要	2
2 岸和田市の高齢化の進行状況と対策の現状	3
<b>第2章 課題抽出</b>	
課題1 各事業への男性の参加率	7
課題2 若い世代からの健康づくりと社会参加	7
課題3 いきいき百歳体操の地域による実施率の格差	7
<b>第3章 政策提言</b>	
1 事業の方向性	8
2 事業形態及び事業対象	9
3 財源	9
4 事業の推進体制	9
5 具体的事業	
(1) 参加者を男性に限定した事業	9
(2) 夫婦で参加しやすい介護予防事業	10
(3) 定年退職層の活用	11
(4) 民間事業者の活用（スポーツクラブの活用）	11
<b>第4章 目標設定と効果</b>	
1 目標設定	12
2 効果	13
終わりに	14

# 政策提言の概要

## 現 状

- ・ 国、大阪府と比較すると高齢化が緩やかな岸和田市だが、2040年に向けて高齢化が進行していくため、介護費の増加が見込まれる
- ・ 岸和田市は、全国と比較すると要介護認定率が高い
- ・ 高齢者を対象とした事業は、介護保険課、福祉政策課、生涯学習課がそれぞれで行っている

## 課 題

- ・ 各事業への男性の参加率
- ・ 若い世代からの健康づくりと社会参加
- ・ いきいき百歳体操の地域による実施率の格差

## 政 策 提 言

- ・ 参加者を男性に限定した事業  
セーフティドライブ講座／YAZAWA 倶楽部／  
The おやじバンド／脳トレ
- ・ 夫婦で参加しやすい介護予防事業  
お隣さんと百歳体操／サポーター養成講座
- ・ 定年退職層の活用  
市民農園活用事業／セカンドライフ応援団
- ・ 民間事業者の活用  
行け！メン倶楽部／水中散歩教室

## 目 標 と 効 果

- ・ 要介護認定率の低下
- ・ 介護給付費の削減



幸せ上々、みやこのじょう  
日本一の肉と焼酎、とっておきの自然と伝統

# 生活習慣病予防対策

## ～都城市における糖尿病予防対策～



霧島山と都城市 PR キャラクター兼 PR 部長 ぼんちくん

### 【指導教官】

自治大学校客員教授 田谷 聡

### 【第2部課程第187期 政策立案 第8班】

リーダー	50番	田崎 裕士	(長崎県西海市)
	31番	大柴 純一	(山梨県韮崎市)
	41番	桑島 洋明	(山口県下松市)
	42番	隅田 紀正	(山口県平生町)
	52番	溝ノ口 幸秀	(宮崎県都城市)

# 目 次

政策提言の要旨	1
はじめに	2
第1章 現状分析	2
1 都城市の概要	
2 糖尿病の現状	
3 肥満の現状	
4 特定健康診査の現状	
5 特定保健指導の現状	
第2章 課題の抽出	6
1 40～59歳の特定健康診査の受診率が低い	
2 40～59歳の特定保健指導の実施率が低い	
3 特定健康診査未受診者一人あたりの生活習慣病治療費が高い	
第3章 提言及び効果	8
1 提言「温泉施設を活用した糖尿病対策」	
2 温泉施設の状況	
3 提言の目標	
4 事業内容及び期待される効果	
事業1 糖尿病の情報発信・啓発拠点の整備	
事業2 糖尿病に関する意識の向上とデータの収集	
事業3 特定健康診査の受診率増加対策	
事業4 特定保健指導の実施率増加対策	
5 期待される効果	
6 5年間の収支	
おわりに	14

## 政策提言の要旨

### 現 状

- 1 都城市の概要
- 2 糖尿病の現状
- 3 肥満の現状
- 4 特定健康診査の現状
- 5 特定保健指導の現状



### 課題分析

- 1 40～59歳の特定健康診査の受診率が低い
- 2 40～59歳の特定保健指導の実施率が低い
- 3 特定健康診査未受診者一人あたりの生活習慣病治療費が高い



### 提言と効果

- 1 提言「温泉施設を活用した糖尿病対策」
- 2 温泉施設の状況
- 3 提言の目標
- 4 事業内容
  - 事業1 糖尿病の情報発信・啓発拠点の整備
  - 事業2 糖尿病に関する意識の向上とデータの収集
  - 事業3 特定健康診査の受診率増加対策
  - 事業4 特定保健指導の実施率増加対策
- 5 期待される効果
- 6 5年間の収支

# プラスチックごみ「0(ゼロ)」への挑戦



指導教官：関西学院大学法学部・大学院法学研究科教授  
金崎 健太郎

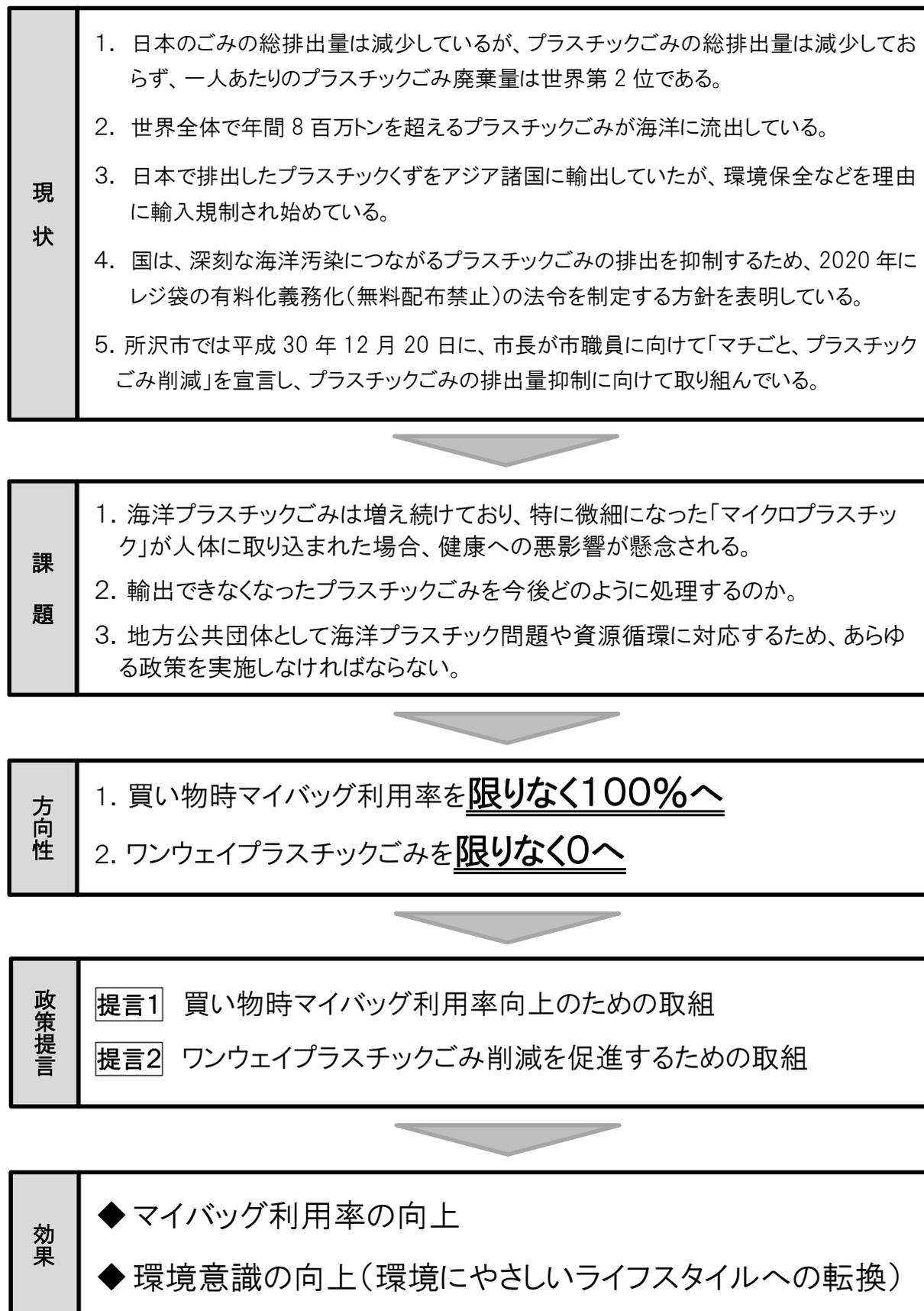
第2部課程第187期 第9班

15番	愛知県豊川市	杉本	陽平
23番	埼玉県所沢市	岩崎	智己
39番	広島県大竹市	浅田	幸政
40番	山口県山口市	藤本	竜夫
51番	熊本県荒尾市	大崎	圭介

## 目次

政策提言の概要	1
はじめに	2
第1章 プラスチックを取り巻く現状	3
1 プラスチックごみを取り巻く状況	3
2 海洋プラスチックごみ問題の状況	4
3 国のプラスチックへの取組状況	5
4 地方公共団体の取組状況	5
第2章 現状の課題	6
1 「マイクロプラスチック」の健康への影響	6
2 輸出できなくなったプラスチックごみの処理方法	6
3 地方公共団体の対応方策	6
第3章 課題解決の方向性	7
1 買い物時マイバッグ利用率を限りなく100%へ	7
2 ワンウェイプラスチックごみを限りなく0へ	7
第4章 政策提言	7
提言1 買い物時マイバッグ利用率向上のための取組	7
提言2 ワンウェイプラスチックごみ削減を促進するための取組	9
第5章 政策提言の効果検証	14
おわりに	14

## 政策提言の概要



# スイスイスイム フールを見直せ 稲沢財政スリム PLAN!



第2部課程 第187期 第4班  
自治大学校客員教授 西藤 公司

- 10 松崎 芳隆 (稲沢市)
- 24 藤本 雅人 (狭山市)
- 26 松永 匡史 (伊勢原市)
- 33 奥 登紀子 (城陽市 \*リーダー)
- 35 高田 槿子 (八尾市)

# 目次

政策提言の要旨	1
はじめに	2
第1章 現状分析	2
1 稲沢市の地勢	2
2 人口動向	2
3 財政状況	3
4 稲沢市の施設に対する考え方	4
第2章 課題の整理	4
1 稲沢市教育施設長寿命化計画	4
2 稲沢市のプールの状況	5
3 市営プール	5
4 学校プール	6
第3章 先行事例の調査	7
1 茨城県鹿嶋市	7
2 千葉県佐倉市	8
3 神奈川県海老名市	8
第4章 政策提言	8
1 市営プール	8
(1) 施策の概要	8
(2) 市営プールの一部廃止	9
(3) 民営プールの一般開放事業拡大	9
(4) 市営プールの有料化	9
2 学校プール	9
(1) 施策の概要	9
(2) 全23小学校と2中学校のプール廃止及び水泳授業の民営委託	10
3 施策実施までのスケジュール	11
第5章 期待される効果	12
1 市営プール	12
2 学校プール	13
おわりに	14

# 政策提言の要旨

## 現状分析

- 稲沢市の地勢
- 人口動向
- 財政状況
- 稲沢市の施設に対する考え方

## 課題の整理

- 稲沢市教育施設長寿命化計画
- 稲沢市のプールの状況

- 市営プール
  - ・ 現状  
県内比で過剰なプール設置数
  - ・ 課題  
施設老朽化や維持費の問題

- 学校プール
  - ・ 現状  
年間の使用期間は2か月のみ
  - ・ 課題  
今後の維持費や改修費に課題

## 先行事例の確認

- 茨城県鹿嶋市  
(市民用と学校水泳授業用の共用型屋内温水プールを整備)
- 千葉県佐倉市  
(民営スイミングスクールを活用した水泳授業の導入)
- 神奈川県海老名市  
(学校プールを廃止、市営プールで水泳授業)

## 政策提言

- 市営プール
  - ・ 市営プールの一部廃止
  - ・ 民営プールの一般開放事業拡大
  - ・ 市営プールの有料化

- 学校プール
  - ・ 小学校プールの廃止
  - ・ 学校授業の民営委託

- 施策実施までのスケジュール

## 期待される効果

- 市営プール
  - ・ 維持・管理費用の低減
  - ・ 施設数の適正化

- 学校プール
  - ・ 維持・管理費用の低減
  - ・ 小中学校授業のインストラクターによる充実
  - ・ 教員の負担減



# バスでつなぐまちづくり ～ 五戸町の人・もの・交通 ～



## 【指導教官】

自治大学校客員教授 藤島 昇

## 【第2部課程 第187期 第5班】

4番 青森県五戸町 橋本 智春

8番 石川県金沢市 高島 大輔

11番 広島県江田島市 中田 慎一郎

14番 沖縄県南城市 玉城 克治

27番 新潟県十日町市 保坂 仁

## 目次

政策提言概要	1
はじめに	2
第1章 現状分析	2
1. 五戸町の現状	2
2. 交通網の現状	3
3. 物流網の現状	4
4. 中山間地域における冬期間の暮らしの現状	5
第2章 課題抽出	5
1. コミバスの経費と利用者数	5
2. 中山間地域に暮らす住民の利便性	6
3. 中山間地域における冬期間の暮らし	7
第3章 政策提言	7
提言1 交通網の再編	7
提言2 新たな物流網の構築	9
提言3 冬期共同生活の推進	11
おわりに	13

## 政策提言概要

### 現状

- 平成 25 年 4 月からのコミュニティバス運行以来、住民の細かなニーズに対応し、路線の拡張を行ってきた
- 中山間地域には、生活物資を購入する場所がない
- 高齢者世帯の増加
- 中山間地域の冬期間の生活に不安を感じている世帯がある

### 課題

- 住民ニーズに対応し、コミュニティバスの路線拡張を進めた結果、運行経費が年々増加するとともに、路線が複雑化した
- 利用者数がほぼいない路線が存在する
- 生活物資を購入するためには、中心市街地まで行く必要があり、一部の中山間地域に暮らす住民は、車に頼った生活をしている。そのため、高齢化により将来的に車の運転が困難になり、利便性が悪くなることが想定される
- 中山間地域に暮らす住民にとって、冬期間の生活に支障をきたしており、将来的にはますます困難になっていく

### 交通網の再編・物流網の構築 コミュニティ形成

### 政策提言

#### 交通網の再編 新たな物流網の構築

- コミュニティバスの再編
- コミュニティバス路線を活用した配送サービスの構築

#### 冬期共同生活の推進

- 空き家を利用した共同生活

### コミュニティバスでつなぐ、人・もの・交通

### 効果

- コミュニティバス路線の減便・廃止により、行政コストの削減
- 再編した地域のコミュニティバス路線を活用した買い物配送サービスにより、買い物弱者解消と生活見守り支援
- 配送サービスと連動したシェアハウスによる、冬期間の高齢者に安全安心な暮らしを提供
- シェアハウスの活用で、新たなコミュニティの形成による地域の活性化